

2022年度 つむぎ 府中ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.1	ご利用者様にご満足いただけますよう、今後ともルーム内の清掃及び整理整頓に努めてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.3	お子さまの様子を鑑みて、今後とも適切な人員配置を行ってまいります。スタッフの専門性につきましては研修や勉強会を行い、ご利用者様にご満足いただけますよう努めてまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	3.6	スタッフ全員がしっかりと休憩を取るよう努めてまいります。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	4.0	スタッフ全員がPDCAサイクルの仕組みや意義を理解して、今後とも業務改善に努めてまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.1	保護者様からのご希望やご意見を真摯に受け止め、スタッフ全員で話し合い、業務改善に努めてまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.1	自己評価表はルーム内に掲示すると共に、2023年1月に当法人のホームページに掲載致します。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.8	2021年11月に府中市による実地指導がありました。その評価結果を受け、指摘箇所を改善しております。また、毎年指摘内容を再確認するよう努めております。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.3	ルーム内研修や勉強会を適宜行っております。また法人内の「子育ての質をあげる勉強会」に毎月参加しております。今後とも、スタッフの資質やスキル向上を目指してまいります。
Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。			
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.4	全スタッフ、共通のアセスメントシートを使っております。策定会議や事例検討会、また日々のミーティングでお子さまの様子を確認しながら支援に努めてまいります。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.4	概ね6か月に1回、保護者様のご希望やお子さまの生活状況を伺い、つむぎでの様子なども鑑みて個別支援計画書を作成しております。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.4	支援の前には必ず個別支援計画書を確認しております。今後とも、支援目標を把握しながらより豊かな支援に努めてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.0	お子さまの「やってみたい」「楽しい」気持ち、そして笑顔を大切にしながら、いろいろなプログラムをご提供できるように努めてまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.4	グループ支援当日はスタッフ全員でミーティングを行い、プログラムの内容や安全確認、配慮事項、役割分担などを確認しております。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.3	支援の当日または翌日にスタッフで振り返りを行っております。気づいた点やエピソードなどを共有しながら、次の支援に繋げてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.3	支援終了後に、支援内容やお子さまの様子を記録しております。支援内容などの検討を重ね、次回の支援につながるよう努めてまいります。
	Q19	定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていないか。	4.5	個別支援計画書の更新前月に保護者様にモニタリングを行い、更新前月に新たな個別支援計画書の説明をしております。支援内容を保護者様と共有して豊かな支援に繋げてまいります。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.1	お子さまの生活がより豊かになるように表現活動や戸外活動、畑仕事などを提供しております。今後とも、お子さまの「やってみたい」を大切にしながら複数の支援を組み合わせ提供してまいります。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		
保護者との関係機関や連携について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.1	支援後には活動の伝達などを含め、保護者様とお話をする時間を設けております。より一層、保護者様とのコミュニケーションを豊かにして、お子さまについての共通理解を深めてまいります。
	Q23	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	4.1	保護者様からご依頼がございましたら、所属されております幼稚園や保育園と電話や来訪にて連携をしております。
	Q24	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	4.1	児童発達支援事業所同士の連携が十分とは言い難い状況でございますが、昨年度よりも連携数は増えました。今後も、地域の情報発信の意義もふまえ、豊かな連携に努めてまいります。
	Q25	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	4.1	現在、移行先の放課後等デイサービスへの情報提供ができておりません。今後、そのシステムを構築し、保護者様とご相談の上、情報提供に努めてまいります。

保護者との関係機関や連携について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.1	現在、専門機関との連携、助言や研修を受ける機会が減っております。オンライン参加も含め、今後は積極的に連携に努め、研修や助言を受けてより豊かな支援に努めてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.9	現在、地域連携を図るような会議に参加する機会が減っております。オンライン参加も含め、今後は積極的に参加してより豊かな支援に努めてまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	3.1	北島体験農園にいらしているお子さま、公園で出会ったお子さまとの関わりなど、活動の際に出会った地域のお子さまとの関わりを大切にしております。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.0	現在、地域の方をルームにご招待する企画がございません。コロナ渦でも実施できる内容を検討しております。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.3	日頃、保護者様とのお話や関わりの中で、保護者様の対応力の向上を図る支援を引き続き努めてまいります。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.5	保護者様に安心してご利用いただけますよう、より丁寧な説明に努めてまいります。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.3	保護者様の悩みや不安などに寄り添いながら、相談に応じ、丁寧な支援を心がけてまいります。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.8	今後は、保護者様のニーズを把握しながら保護者様同士の連携に努めてまいります。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.4	いただいたご意見を真摯に受け止め、スタッフ全員で対応してまいります。お子さま及び保護者様に安心して通っていただけますよう努めてまいります。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.1	毎月のグループ活動内容はルーム内に掲示してご案内しております。体験学習など企画に関しましては、余裕をもってご案内いたしますよう努めてまいります。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.3	発達や支援などの情報について、そのお子さまに沿った内容を分かりやすい言葉でお伝えしてまいります。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.4	個人情報は施錠できるロッカーに保管しております。引き続き、個人情報の厳重な管理に努めてまいります。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.4	朝礼や昼礼、終礼、日中のミーティングでは時間を確保してスタッフ同士の連携や情報共有を行っております。今後もスタッフの連携をより一層深めてまいります。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.4	左記、マニュアルを読み合わせするとともに、今後もより一層、共通理解として深めてまいります。
	Q42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.6	避難訓練は毎月15日前後に行っております。お子さまや保護者様の命を守るべく、日々訓練に努めてまいります。
	Q43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.3	4月と10月にスタッフ全員で人権チェックを行っております。また、10月には人権および虐待研修を行いました。引き続き、虐待防止に向けてスタッフ全員で研修を重ね、適切な対応に努めてまいります。
	Q44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.5	毎日、ヒヤリハットをスタッフ間で共有しております。また、毎月自ルーム事故防止委員会を行い、スタッフ同士でヒヤリハットについて検討を重ねております。今後ともお子さまの安全に心がけてまいります。
	Q45	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		
満足度について	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.6	府中ルームに通われているお子さまや保護者様が、安心して笑顔でご利用いただけますように努めてまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.4	多くのご利用者様から「楽しく通っている」とのお声をいただき、誠に嬉しく、また感謝申し上げます。今後とも笑顔あふれるルームを目指してまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		

アンケート実施期間：2022年8月12日～9月5日
全回答数：8

つむぎ 府中ルーム
施設長 上田 朋子